

ときめき人

Tokimeki bito

登米地区 交通安全協会 A チーム

高齢者自転車大会 県大会で団体優勝



Profile

登米地区交通安全協会 登米 A チーム
左から金田庄七さん(77) (登米町・峯畑)、菅野健
一郎さん(72) (登米町・下り松)、佐々木康明さん(69)
(登米町・九日町)、阿部進さん(78) (登米町・大谷地)

年齢を感じさせない機敏な動きで自転車に乗るのは、10月31日に仙台市で開催された「第11回交通安全高齢者自転車大会」で団体優勝を果たした『登米 A チーム』の金田庄七さん、阿部進さん、菅野健一郎さんの3人。

高齢者自転車大会は65歳以上が対象で、板乗りや8の字走行などの技能走行と、一時停止や踏切などの法令走行を減点方式で審査し合計得点で競います。今回は県内各地から20チームが参加しました。

チームの皆さんは、大会の約2週間前から練習を開始。指導員の佐々木康明さん指導の下、スマートフォンでの動画撮影などを取り入れながら、自分たちの運転などを改善しました。

リーダーの金田さんは「今回の優勝は交通安全協会と登米警察署のバックアップがあつてのこと。指

導員はもちろん、交通安全協会、登米警察署皆様のご指導のおかげです。本当に皆さんに感謝しています。また来年も出場したいですね」と笑顔で話します。登米署管内の出場チームは昨年でも団体で優勝、3位に輝いており、これまで計6回の団体優勝を果たしています。

「登米署管内では3年間交通死亡事故ゼロを記録しています。これも一人一人の心がけによるもので、今回の受賞は地域総ぐるみの取り組みの結果。2連覇を達成できたことは本当に素晴らしいことです」と登米警察署花田啓太交通課長。

「今回の受賞をきっかけに、自転車を通じて地域の交通安全リーダーとして貢献したいです」と笑顔で話す皆さん。長い人生経験と技術が地域に安全・安心をもたらします。

編集後記

▼2015年は、公私ともに大きな変化があった年。一番大きな出来事はこの仕事に戻ったこと。10年間、中でのデスクワークが中心だったので、取材の楽しさを忘れていた。多くの皆さんと話をし、元気をもらえらること。2016年も元気をもらいにまちへ出ます。(及川)

▼2016年は申年。「サル」は古来から不幸が去る、苦難が去るなどの縁起の良い動物として親しまれてきた動物だそうです。今年も取材を通じていろんな人との出会いがありました。来年も木から木へと飛び回っているサルのように、いろいろな所へ取材に出掛けたいと思います。(佐藤)

▼今年も残り数日。月日が過ぎるのを早く感じます。冬といえば、雪や路面凍結の季節です。毎年、びくびくしながら運転。何年経っても慣れません。私自身、何度も怖い経験をしました。自分だけでなく、相手にもやさしい運転を心掛けようと思います。(田代)



モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

